

## 【奨 励 賞】



氏 名 TRAN THI THUY DUONG  
(チャン ティ トゥイ ズオン)

国・地域 ベトナム 

在日期间 1 年半

学 校 九州日本語学校

### タイトル : 第二の家族

私は 2019 年の夏に留学として、この鹿児島に来ました。この鹿児島でのアルバイトの経験は私の価値観を変える大きな転機となりました。

まず食肉加工の工場で働きましたが、もっといろいろな人々と接して日本のビジネスマナーを学びたいという思いから、工場を退職し、新しいアルバイトをすることにしました。新しい仕事はコンビニの店員です。このアルバイトでは、色々なお客様と接するチャンスがあります。私が働くコンビニは大きな交差点にあるので、いつもたくさんのお客様が出入りし、よく長い列ができる忙しいお店です。そんなある日のことでした。レジでお客様の会計をしている時、私はミスをしてしまったのです。お客様のヨーグルトを袋に入れる時、横に倒した状態で入れてしまいました。それを見た女性のお客様から「横にしたよ」と言われてしまいました。すぐに気付いてそれを直し、私は「すみませんでした」と言いました。お客様は怒らずに、そのまま持って帰られました。ところが、それから15分ぐらいして、そのお客様から電話があったのです。「何でヨーグルトを袋に入れる時、横にしたの」というクレームでした。そんな電話があったことを仲間から聞いて、びっくりしました。「ちゃんと直して謝ったのに、お客様はどうしてそんなに怒ったのだろうか。」と、落ち込んでしまいました。でも、そんな私を見た A さんという同僚が私に「大丈夫、大丈夫」と言って励ましてくれたのです。私は店長に怒られるのだろうと思っていましたが、店長も「大丈夫、いろいろ失敗はあるよ。次から失敗しないように心がけて、少しずつ成長していきましょう」と言ってくださいました。その店長の優しさには、私は泣きたいぐらい感動しました。

コンビニでは店長のご両親も一緒に働いています。お店のスタッフはみんな二人のことをお父さん、お母さんと呼んでいます。私は、お店では「チャン」と呼ばれていて、二人はいつも私に「ちゃんさん、頑張ってるね」と声をかけてくれます。働き始めて最初の2ヶ月ぐらいは失敗は何度もあり、落ち込むことがよくありました。そんなある日の午後、

列で順番を待っていた、ある男性が私を見た瞬間、指をさして「お前外国人、信じないよ」と怒鳴り、別のレジへ向かおうとしました。私はびっくりして、顔が真っ青になりました。頭の中が真っ白になり、考えることができなくなってしまいました。私がそこで動けずにいると、お父さんがそばに来て、そのお客様に「チャンさんは頑張っている人です。信じてあげてください」と言ってくれたのです。私を守ってくれた、このお父さんの言葉は、いつまでも忘れられない大切な宝物です。お母さんも、私を本当の娘のように気にかけてくれています。今のお店は本当の家族のような温かさが感じられる職場です。私は店長や同僚の人たちに支えによって成長ができていますと感じています。以前は日本で新しい環境に溶け込むためには、言葉を上手に学ぶだけでいいと思っていました。でも、このアルバイトで出会った人々から、相手の立場に立って、お互いを理解し合うことが、何よりも大切なことだと分かるようになりました。そうすることで初めて、新しい世界の一員として生きていくことができるのです。

ご清聴ありがとうございました。